

レスリング部の青柳善の輔選手、石井亜海選手が、 「明治杯 全日本選抜レスリング選手権大会」で優勝！！

クリナップ(本社:東京都荒川区 社長執行役員:藤原 亨)が運営する、クリナップレスリング部の3選手が、5月21日～24日に駒沢オリンピック公園総合運動場体育館にて開催された「明治杯 全日本選抜レスリング選手権大会」に出場。青柳 善の輔選手(フリー74 kg級)と石井 亜海選手(女子 68 kg級)がそれぞれ優勝しました。また、両選手は「アジア競技大会」と「世界選手権」の代表権を獲得しました。

本大会は、昨年末に開催された「天皇杯 全日本レスリング選手権」と並び、日本代表選考を兼ねた重要な大会で、両大会を勝ち抜いた選手が「アジア競技大会」と「世界選手権」の代表権を獲得します。

■青柳 善の輔選手(フリースタイルレスリング 74 kg級)

天皇杯覇者として大会に臨んだ青柳選手は、1回戦を7-4で勝利。準決勝では、昨年の同大会で敗れた相手にフォール勝ちを収め、雪辱を果たしました。

決勝戦は接戦となったものの、終始リードを保ったまま試合を展開。終盤、逆転を狙う相手をそのまま抑え込み、フォール勝ちで優勝を決めました。この結果、「アジア競技大会」、「世界選手権」の代表権を獲得しました。

さらに、青柳選手は大会最優秀選手に贈られる「明治杯」を授与されました。

■石井 亜海選手(女子レスリング 68 kg級)

石井選手はノルディック方式による予選リーグを1位で通過し、準決勝へ進出しました。準決勝はテクニカルスペリオリティ勝ちを収めると、決勝戦では2-1の接戦を制し、優勝。

さらに、決勝戦と同カードとなった、天皇杯覇者とのプレーオフにも4-2で勝利し、「アジア競技大会」および「世界選手権」の代表権を獲得しました。

■榊 流斗選手(フリースタイルレスリング 61 kg級)

榊選手は1回戦をフォール勝ちで突破。続く2回戦では果敢に攻め込みましたが、フォール負けで残念ながら敗退となりました。



表彰式での石井選手(中)



「明治杯」を授与された青柳選手